

科目名	文化解釈論
開設学校名	岐阜大学
講師	地域科学部 教授 内田 勝
初回予定日	2019年 10月 4日
授業時間	毎週金曜日 1時限目 8時 45分開始 10時 15分終了
主会場	岐阜大学 柳戸キャンパス 地域科学部棟 301 講義室
聴講方法	対面授業（岐阜大学柳戸キャンパス）
科目内容	活版印刷文化について、というか「書物」そのものの持つ意味について考えてみます。通常こうしたテーマで講義をすると、声の文化と文字の文化の比較・活字メディアと電子メディアの比較といったメディア論寄りのものになりがちなのですが、ここでは特に書物がどう読まれ、書かれてきたかに着目することで、文学史・文学批評の面からも迫ってみるつもりです。本が好きでたまらない人だけでなく、本を1ページ目から順番に読んでいくのが苦痛でつい途中で飛んでしまう人、後ろから読んでしまう人、挿し絵だけバラバラ眺めてしまう人、最後まで読み切れなかった本が本棚に並んでいる人、近頃さっぱり本を読まなくなった人、そんなあなたのための講義を目指します。
注意事項	毎回の授業では、さまざまな参考文献からの引用から構成される授業資料を配布します。 学年暦の関係から1月16日（木）に授業が行われます。 なお、11月1日（金）と1月17日（金）は授業が行われません。

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	2019年 10月 4日	授業のおおざっぱな案内。
第2回	2019年 10月 11日	本の定義のようなもの。
第3回	2019年 10月 18日	本の歴史を大急ぎでたどってみる。
第4回	2019年 10月 25日	活版印刷術が出現したことの文化的な意義を考える。
第5回	2019年 11月 8日	日本の書籍業界の問題点について考える。
第6回	2019年 11月 15日	『はてしない物語』を題材に、のめり込む読書を考える。
第7回	2019年 11月 22日	本を書くことについての本『トリストラム・シャンディ』を紹介する。
第8回	2019年 11月 29日	ハイパーテキストについて考える。
第9回	2019年 12月 6日	ハイパーテキストと究極の図書館のようなもの考える。
第10回	2019年 12月 13日	本棚に並べられた本について考える。
第11回	2019年 12月 20日	日本の電子書籍の現状を語る。
第12回	2020年 1月 10日	いわゆる教養としての読書を複雑な思いで語る。
第13回	2020年 1月 16日	読書と教養と立身出世についてさらに語る。
第14回	2020年 1月 24日	本との付き合い方あれこれ。
第15回	2020年 1月 31日	授業のおさらいのようなもの。